

R 7 年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び
中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

掲載センター 一覧

	法人名	事業所名
1	社会福祉法人 常盤会	発達支援センターひこばえ
2	社会福祉法人 落穂会	児童発達支援センター歩路
3	社会福祉法人 麦の芽福祉会	むぎのめ子ども発達支援センターりんく
4	社会福祉法人 慶生会	みらくれ
5	社会福祉法人 常盤会	発達支援センター めばえ
6	社会福祉法人 たんぽぽ会	児童発達支援センターおひさま
7	公益社団法人 昭和会	いまきいれ子ども発達支援センターまある
8	社会福祉法人 鹿児島福祉会	おひさまSun
9	社会福祉法人 慶生会	リコ

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人 常盤会
		センター名	発達支援センターひこばえ
		センター所在地	〒891-1205 鹿児島市犬迫町5975番地
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅱ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置 ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市児童発達支援センター会議への参加		具体的内容	
		その他		具体的内容	県センター連絡会・事業所連絡会・ネットワーク会議・ブロック会議などへの参加
				具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援		具体的内容	関係機関・多職種との情報共有、専門士による心理検査やカウンセリングなど、的確なアセスメントに基づいた総合的な支援の提供
		家族支援、きょうだいへの支援の取組		具体的内容	保護者研修・ペアレントプログラムの実施、ピアサポート活動の提供、専門士によるカウンセリング、親子療育・きょうだい児支援の提供
		特定の知識や技術に関する専門性		具体的内容	専門士による心理検査やカウンセリング、多職種でのケース検討会
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施済	
		実施回数		3回	
		実施日		①令和7年8月22日（金） ②令和7年10月17日（金） ③令和8年1月23日（金）	
		参加機関		児童発達支援事業所、市母子保健課、保健センター、県こども総合療育センター、母子生活支援施設、相談支援センター、幼稚園保育園等	
		実施内容	①	①自己紹介 ②講師：公認心理士・臨床心理士 立本惇子氏 講義・実践「応用行動分析の視点を用いた 困った行動に対する支援（本人支援・保護者支援）」 ③意見交換会	
			②	①療育活動参観 ②意見交換会	
			③	①自己紹介 ②事例報告 ③意見交換会	
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		・地域の関係機関からの依頼に応じて、職員を派遣し研修を実施している。 ・必要に応じて地域の事業所の状況把握を行い、相談内容に応じてケース検討や助言を行っている。	
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携		具体的内容	保育所等訪問支援を年約100回実施
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援		具体的内容	必要に応じて各幼稚園保育園等との情報交換会の実施、移行支援における幼稚園・保育所・学校との連携、個別支援計画作成に伴う会議の開催など
		地域の保育所等に対する研修等の実施		具体的内容	地域連絡会に幼稚園・保育所の参加を受け入れるなど
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携		具体的内容	保健センターや相談支援事業所との連携、担当者会議の開催、育児など不安に関する相談や支援を実施
		基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働		具体的内容	複合ニーズを抱えた障害児支援・家族支援などにおける連携・協働
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について		具体的内容	保護者同士のネットワーク作り、ピアサポート活動の提供、育児への不安軽減など
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人落穂会		
		センター名	児童発達支援センター歩路		
		センター所在地	鹿児島市岡之原町 1 3 9 2 番地		
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅱ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置 ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置		

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会 子ども部会への参加	具体的内容		
		市児童発達支援センター会議への参加	具体的内容		
			具体的内容		
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携	具体的内容	放課後等デイサービスでは、発達段階に応じて4クラス編成を行い、活動を提供している。	
		アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援	具体的内容	小集団療育を主とし、必要に応じてセラピストによる個別療育を実施している。	
		家族支援、きょうだいへの支援の取組	具体的内容	親子療育、保護者会、個別相談、ペアレントプログラム、保護者参観、療育参観、きょうだい児支援会を実施している。	
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況	実施済み		
		実施回数	2回		
		実施日	令和7年10月23日、令和8年1月27日		
		参加機関	児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、幼稚園、保育園、保育所、学校、児童養護施設等		
		実施内容	①	①講話「こどもの育ちを支える～私たちにできることを考えよう～」 ②事例検討「～Rさんの支援を通して～」 ③グループ討議 ④発表	
			②	①講話「こどもの育ちを支える～私たちにできることを考えよう～」 ②事例検討「～Rさんの支援を通して～」 ③グループ討議 ④発表	
			③		
上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		他事業所からのOTの実習受け入れ。			
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携	具体的内容	・保育所等訪問支援の実施。（令和7年度実績：28件）	
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援	具体的内容	・個別支援計画作成に伴う会議の開催。	
			具体的内容		
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携	具体的内容	・支援状況についての日常的なやりとり、担当者会議への参加等	
		基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働	具体的内容	・困難ケースについて、相談支援専門員と協働しながら、支援に繋げる。	
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について	具体的内容	・ペアレントプログラムや茶話会、保護者懇親会、きょうだい児支援会の実施。 ・こどもステーションフェリーチェの開催（子育て相談、仲間づくり、インクルージョンの推進） ・発達相談に関するチラシを作成し、幼稚園等へ配布。	
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人麦の芽福祉会
		センター名	むぎのめ子ども発達支援センターりんく
		センター所在地	鹿児島市吉野町2 1 6 2 番地2
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅲ ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択+記述】	市障害者自立支援協議会 子ども部会への参加	具体的内容	子ども部会委員として参加し、鹿児島市の障害のある子どもたちへの支援のあり方等について協議・検討している。
		市児童発達支援センター会議への参加	具体的内容	会へ参加し、地域(北部)の療育が必要な子どもたちへの地域支援システム等について、協議・連携を図っている。
		その他	具体的内容	・鹿児島市子育て世帯訪問支援事業を委託を受け、会議・研修への参加や、訪問支援を実施 ・保健センター主催の総合相談会への参加、親子遊びへの支援 ・子育て支援ネットワーク会議(北部地区ブロック会議)への参加と意見交換と交流 ・北ネット会議(鹿児島特別支援学校主催)への参加と意見交換・交流
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制(中核機能①) 【選択+記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携	具体的内容	法人内に放課後等デイサービスを有している。移行支援として、説明会の実施や見学会への家族のつなぎ、事業所へはアセスメントや支援についての連携を行っている。
		アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援	具体的内容	アセスメントに基づく総合的な支援を、支援プログラムに合わせて実施している。子どもの言語面(ST)・運動面(OT)、発達検査の実施、保健師面談(保護者向け・月2回)を実施。
		家族支援、きょうだいへの支援の取組	具体的内容	ファミリーデイ(きょうだい・祖父母を含む家族参加の行事)を、年4回実施し、きょうだい児の活動や交流の場を設ける等、家族やきょうだい児の心理的サポートを行っている。
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況(中核機能②) 【記述】	実施状況	実施済	
		実施回数	3回	
		実施日	①令和7年6月27日 ②令和7年11月28日 ③令和8年2月24日	
		参加機関	地域の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、鹿児島市障害福祉課、保健センター、地域の幼稚園保育園	
		実施内容	①	1) 公開療育 2) 研修会 講演「保健師相談を通して考える保護者支援について」 講師：財部マチ子先生 情報提供：地域における児童発達支援センターの役割について 3) 幼稚園・保育所・認定こども園地域支援連絡会
			②	1) 公開療育 2) 研修会 実践レポート「本当はみんなとつながりたい!～ことばの奥に隠れた子どもたちの本当の願い～」をもとに意見交流 まとめ：山口浩明先生(言語聴覚士) 情報提供：子ども家庭庁行政説明資料について 3) 幼稚園・保育所・認定こども園地域支援連絡会 終了後：個別相談会
			③	1) 公開療育 2) 研修会 講演「就学に向けた支援について」 講師：山口浩明先生(むぎっこ保育園) 3) 次年度に向けて・自立支援協議会への要望、意見交流 幼稚園・保育所・認定こども園地域支援連絡会 終了後：個別相談会
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況	・地域の児童発達支援事業所等へ、外部研修の案内を行っている。 ・地域は異なるが、依頼があり、児童発達支援事業所・放課後等デイサービスの研修会へ助言者として参加	
5	インクルージョンの推進体制(中核機能③) 【選択+記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携	具体的内容	保育所等訪問支援の指定を有している。幼稚園型認定こども園へ年2回の巡回相談を実施。
		地域の保育所等に対する研修等の実施	具体的内容	地域事業所連絡会と合同で研修会を開催(項4)。
		自治体と連携した仕組みづくり、周知・啓発	具体的内容	幼稚園・保育所・認定こども園地域支援連絡会を企画・開催し、地域における児童発達支援センター等を中核として障害児支援体制成美の手引きの概要①②の資料の説明や、子ども家庭庁の行政説明の資料説明を行い、周知・啓発を図る。
6	入口としての相談機能を果たす体制(中核機能④) 【選択+記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携	具体的内容	法人内に指定障害児相談支援事業所を有している。他、子育て相談にも応じている。
		こども家庭センター等の関係機関とのネットワークの構築・相互の情報連携や支援の連携・協働	具体的内容	複合ニーズを抱えた障害児支援等において密な連携を実施、要支援家庭への情報共有や訪問支援を実施。
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について	具体的内容	保護者同士の紹介、顔つなぎ等によるピアサポートの提供。親の会活動への支援や学習交流会や茶話会の開催。自主事業として、地域の乳児子育て家庭の支援として、赤ちゃん教室を月2回開催。
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】			○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】			○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人 慶生会
		センター名	みらくれ
		センター所在地	鹿児島市中山二丁目13番15号
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅲ. ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会 子ども部会への参加	具体的内容	鹿児島市障害者自立支援協議会子ども部会等へ参画させていただき、地域課題や支援体制について情報共有・協議を行っている。
		市児童発達支援センター会議への参加	具体的内容	鹿児島市児童発達支援センター会議に参加し、センター間での情報共有、地域支援の方向性、連携方法について協議している。
			具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携	具体的内容	法人内外の放課後等デイサービス事業所と情報共有を行い、未就学期から学齢期への移行を見据えた支援の継続性を意識して連携している。
		特定の知識や技術に関する専門性	具体的内容	ABAの考え方や言語・認知発達支援の視点を取り入れ、行動理解、ことばの発達、集団適応、保護者支援等について専門性の向上に取り組んでいる。
		アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援	具体的内容	個別支援計画作成時のアセスメントに基づき、発達段階、感覚特性、行動面、コミュニケーション面を把握した上で、個別支援と小集団活動を組み合わせて支援している。
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況	実施済	
		実施回数	3回	
		実施日	令和7年6月26日（木）、令和7年12月16日（火）、令和8年1月24日（木）	
		参加機関	子ども総合療育センター、鹿児島市障害福祉課、南部保健センター、児童発達支援事業所、幼稚園	
		実施内容	①	・子ども療育センター・南部保健センターの皆様 ・地域の現状について ・事例検討
			②	・公開療育 ・質疑応答 ・意見交換
			③	・講演会 「みんなが資源・みんなで支援」 指宿特別支援学校 海江田 宏先生
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況	・地域連絡会の開催に加え、地域の障害児通所支援事業所、相談支援事業所、保健センター、保育所・幼稚園等と随時情報共有を行い、利用児童の支援方針や地域課題について連携を図っている。	
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援	具体的内容	保育所、幼稚園、認定こども園等と必要に応じて連絡を取り、児童の集団生活上の課題や支援方法について情報共有を行っている。
		地域の保育所等に対する研修等の実施	具体的内容	地域連絡会や公開療育等を通じて、関係機関に対し発達支援の視点や支援方法について共有する機会を設けている。
		自治体と連携した仕組みづくり、周知・啓発	具体的内容	鹿児島市、保健センター、子ども総合療育センター等と連携し、地域の支援体制づくりや相談先の周知、早期支援につながる啓発に取り組んでいる。
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携	具体的内容	法人内の相談支援事業所及び地域の障害児相談支援事業所と連携し、サービス利用前後の相談、計画相談、支援方針の共有を行っている。
		こども家庭センター等の関係機関とのネットワークの構築・相互の情報連携や支援の連携・協働	具体的内容	地域連絡会や公開療育等を通じて、関係機関に対し発達支援の視点や支援方法について共有する機会を設けている。
		基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働	具体的内容	乳児院や障害児相談支援事業所等と連携し、支援困難ケースや地域課題について相談・助言を受けながら協働している。
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】			○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】			○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人常盤会
		センター名	発達支援センターめばえ
		センター所在地	〒899-2701 鹿児島市石谷町1644番地
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅱ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置 ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市児童発達支援センター会議への参加		具体的内容	
		その他		具体的内容	センター連絡会や事業所連絡会、ネットワーク会議等への参加
				具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援		具体的内容	多職種及び関係機関と連携 専門職による心理検査等のアセスメントに基づいた総合的な発達支援及び家族支援
		家族支援、きょうだいへの支援の取組		具体的内容	親子療育、療育参観、保護者研修の実施 子育てをする中での困りごとや疑問に対する相談やサポート、対応方法や保護者同士のネットワーク作り
				具体的内容	
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施済	
		実施回数		3回	
		実施日		①令和7年9月18日 ②令和7年10月15日 ③令和8年1月13日	
		参加機関		児童発達支援事業所、保育園、地域の小学校、特別支援学校、県こども総合療育センター、市障害福祉課、市母子保健課、市保健福祉課	
		実施内容	①	【公開療育】 ①事業所紹介 ②公開療育・活動説明 ③質疑応答 ④情報交換会（併行先との連携・調整について）	
			②	【関係機関研修会・意見交換会】 ①講話（1）「療育現場における心理支援の在り方」講師：安田氏 講話（2）「言葉を育む ～子ども“と”つくることばの世界～」講師：西野氏 ②意見交換会（グループワーク） ③まとめ	
			③	【関係機関研修会・意見交換会】 ①講話（1）「言葉の育ち」講師：内野氏 ②意見交換会（グループワーク） ③まとめ	
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況			
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携		具体的内容	地域の保育所と連絡会に年2回参加、保育所等訪問支援を年約100件実施
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援		具体的内容	必要に応じて各幼稚園、保育所との情報交換会の実施 移行支援における学校との連携
		地域の保育所等に対する研修等の実施		具体的内容	地域連絡会に幼稚園・保育所等の参加を受け入れている
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	こども家庭センター等の関係機関とのネットワークの構築・相互の情報連携や支援の連携・協働		具体的内容	保健福祉課が月1回主催する親子教室に参加、育児不安に関する相談や支援を実施
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について		具体的内容	保護者同士のネットワーク作りで茶話会を実施 ピアサポートの提供、育児への不安軽減など
		指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携		具体的内容	利用希望者、見学希望者の相談受付 担当者会議への参加
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人たんぽぽ会
		センター名	児童発達支援センターおひさま
		センター所在地	鹿児島市星ヶ峯二丁目11番10号
		中核機能強化体制区分【選択】	Ⅲ. ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会 子ども部会への参加	具体的内容	地域の障害児支援の在り方について協議・検討の為部会への参加。地域のニーズについて聞き取り実施。
		市児童発達支援センター会議への参加	具体的内容	地域の障害児支援の在り方について年4回鹿児島市内のセンターとの連携を図っている。
		その他	具体的内容	鹿児島県こども総合療育センター 発達障害地域支援専門員フォローアップ研修 ペアレントプログラムフォローアップ研修 2回/年 地域発達障害対応力向上研修 鹿児島県センター会議 県下の療育体制等についての連携 母子保健課 発達支援の気づきの段階から継続的な支援と移行等、連携に関する懇談 南部保健センター 「南部地域連絡協議会・地域の健康づくりを語る会」 地域施設との連携 南部親子つどいの広場 子育て支援ネットワーク会議（南部地区ブロック会議）2回/年 鹿児島市障害者基幹相談支援センター 令和7年度第7回鹿児島市自立支援協議会定例会 「児童発達支援センターについての紹介」グループワーク・質疑応答
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携	具体的内容	地域の学校等との連携を図りながら支援を実施している。
		アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援	具体的内容	アセスメントに基づく総合的な支援を、支援プログラムに合わせ実施。安心を感じながら個々のニーズに合わせた支援を総合的に実施している。
		家族支援、きょうだいへの支援の取組	具体的内容	個別相談・日々こどもを育てている保護者の思いを尊重しながら、家族が参加できる活動を実施し、家族・きょうだいが一緒に楽しむ経験やきょうだい同士が交流する機会の提供。 ペアレントプログラムの実施。
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況	実施済	
		実施回数	6回以上	
		実施日	①5/17・5/31・6/6・6/13・6/27・7/4・7/11・7/26・8/25 ②7/4 ③④年間通じて ⑤2/13	
		参加機関	鹿児島県こども総合療育センター・南部保健センター・児童発達支援センター・児童発達支援事業所・放課後等デイサービス事業所	
		実施内容	①	ペアレントプログラムの実践 地域の事業所保護者・職員参加
			②	7/4療育実践を通しての意見交換 ①自己紹介 ②療育実践見学 ③療育実践をみての意見交換 ④それぞれの事業所のうまくいっていること、困っていること
			③	療育実践意見交換会 7/15おんぶ・9/9あゆみ・10/6子育てサポートどんぐり・10/10光山はぐくみハーモニー・10/21育ちサポート遊喜・10/1児童発達支援センターひこばえ・11/12こども療育センター結・1/29光愛りんごハウス
			④	地域事業所との連携（訪問・対話） 相談支援事業所より問合せ 事業所間電話等による連絡相談 11/10.11 事業所電話訪問・事業所訪問トラブル 12/17（延期）2/24 施設見学、保育所等訪問支援についての研修会・明日への一歩

			⑤	1年の振り返り 令和7年度の動向 行政との連携について・南部Aチームの連携について 実践報告 こども療育センター結・児童発達支援センターおひさま 学習会「脳の成長と心の発達について」 個人ワーク・グループワーク ・意見交換
		上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		センター間の連携（顔の見える仲間づくり） センター間の連絡会の相互参加・地域の障がい児通所支援事業所へ研修案内 6/20こどもの発達研修会（落穂会） 7/13「かごしま南ネット」情報交換会 10/2事例検討型講話～行動分析の視点から～（正栄会）
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携	具体的内容	地域の保育所等への訪問を実施している。
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援	具体的内容	地域の保育園と災害の状況など連携し合い、合同で避難訓練を実施するなど安全体制の協同を行った。また、年間28件保育所等訪問支援を実施。他、秋祭りや餅つき会の行事や交通安全教室など実施した。
		地域の保育所等に対する研修等の実施	具体的内容	1月 実践について一緒に学び合いを行った。
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携	具体的内容	指定障害児相談支援の指定を有している。
		基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働	具体的内容	基幹相談支援センターが主催する障害児相談支援事業所等との連携会に出席した。その後、相談支援事業所からの連携あり。
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について	具体的内容	12/12(金) おひさま親子遊び・相談会の実施等、地域に住まれる家族へ子育てに関する不安や悩み、子育てについての子育て相談を行った。発達段階にあった子育てのアドバイスや療育についての話し、地域の事業所を利用するためのつなぎの支援や相談を行った。あそびでは、製作を実施した。 地域の障がい児通所支援事業所に通う保護者と一緒に子育てについてのグループワークを実施した。6回にわたるワークを通して保護者同士の仲間づくりにつながった。
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】			○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】			○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	公益社団法人昭和会
		センター名	いまきいれ子ども発達支援センターまある
		センター所在地	鹿児島市荒田1丁目15-2
		中核機能強化体制区分【選択】	Ⅲ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市児童発達支援センター会議への参加		具体的内容	
		その他		具体的内容	定期的に中央・東部・南部・西部等の保健センターとの連携会議を実施している
				具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援		具体的内容	発達検査（遠城寺、新版K式など）を定期的実施し、子どもの発達状況を把握し、子どもの特性に合わせた支援体制（集団活動、個別活動、リハビリ、給食支援、栄養指導など）を行っている
		家族支援、きょうだいへの支援の取組		具体的内容	定期的に個別での家族支援や集団での家族支援を実施している。令和7年度から保護者向け「ペアレントトレーニング」計5回実施した。また「きょうだいデイ」を設けきょうだいへ支援する取組みも行っている。
		指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携		具体的内容	放課後等デイサービスの指定を有している事業所「まふいん」、「LINO」と連携を図っている。
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施	
		実施回数		8回	
		実施日		①令和7年6月24日、7月8日、8月19日、9月16日、10月14日、11月4日の計6回 ②令和7年5月28日 ③令和8年2月24日	
		参加機関		児童発達支援事業所、市障害福祉課、市母子保健課、各保健センター、基幹相談支援センター、リハビリ病院	
		実施内容	①	「ペアレントトレーニング研修会」 1) 講話（鹿児島女子短期大学講師 今村幸子先生） 2) グループ討議	
			②	「児童発達支援事業所連絡会(1)」 1) 連絡会：まある連絡会、センターの機能について（当管理者 渡辺貴子） 2) 講話：療育に期待すること（医師の立場より）（当センター長 丸山有子医師） 3) 意見交換会	
			③	「児童発達支援事業所連絡会(2)」 1) 連絡会（当管理者 渡辺貴子） 2) 各事業所紹介、意見交換会	
上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		地域の事業所を訪問し、各事業所の状況把握を行った。担当する事業所や連携を図っている事業所も多いため今年度は10件程度行った。来年度も引き続き事業所訪問を継続していく予定である。			
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携		具体的内容	保育所等訪問支援は令和7年度は対象児1名実施し連携を図っている。
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援		具体的内容	地域の保育園や幼稚園などと定期的（3か月に1回程度）に連携会議を実施している。また見学研修も行っている。
				具体的内容	
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	基幹相談支援センターや障害児相談支援事業所等との連携・協働		具体的内容	指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所「みんなのえがお」、「Prism」と連携を図っている。
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について		具体的内容	定期的（月1回程度）に保護者同士で話をする機会を設け、同じ子育ての仲間として気持ちの共有を図れる取組みを実施している。
				具体的内容	
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○

地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人鹿児島福祉会
		センター名	おひさまSun
		センター所在地	鹿児島市小野4丁目15-16
		中核機能強化体制区分 【選択】	Ⅱ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置 ・主として専門的な発達支援及び相談支援を行う上で中心となるものを配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会　子ども部会への参加		具体的内容	
		市児童発達支援センター会議への参加		具体的内容	
				具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携		具体的内容	ソーシャルスキルトレーニングを中心に、子どもたちが主体的に活動を進められるように支援している。
		家族支援、きょうだいへの支援の取組		具体的内容	家族通園での療育実施（マジックミラー活用）、きょうだいや祖父母の行事参加への促している。
		特定の知識や技術に関する専門性		具体的内容	作業療法士、言語聴覚士、公認心理師による助言を頂いている。
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施済	
		実施回数		年2回	
		実施日		①令和7年7月8日（火）②令和7年11月25日（火）	
		参加機関		児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、市障害福祉課、母子保健課、保健センター、県子ども療育センター	
		実施内容	①	①14：00～16：30 ・講話「ひきこもり状態にある人の実情と支援」 講師：ひきこもり地域支援センター かごしま子ども・若者総合相談センター ひきこもり支援コーディネーター　喜島　達朗　氏 ・質疑応答・まとめ	
			②	②14：00～16：30 ・講話「愛着について」 講師：鹿児島市教育委員会　学校教育課　主幹　福森　真一　氏 ・質疑応答・まとめ	
			③		
上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		中核機能強化職員が地域の事業所や放課後等デイサービス事業所の困りごと等の相談があった際に、助言を行っている			
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	指定保育所等訪問支援の指定を有している又は保育所等訪問支援を指定を有している事業所との連携		具体的内容	保育所等訪問支援で訪問し、訪問時の面談や幼保連絡会等で連携を図っている。保育所等訪問支援令和7年は231回実施。
		地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援		具体的内容	幼保連（2回）、小学校連絡会、幼保小連絡会を行っている。
				具体的内容	
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について		具体的内容	年3回懇談会を開催し、保護者同士の関りを増やせるようにしている。行事を通して様々な年齢の子どもを持つ保護者同士の関りの場としている。
		こども家庭センター等の関係機関とのネットワークの構築・相互の情報連携や支援の連携・協働		具体的内容	自立支援協議会等の定例会等へ参加している。
				具体的内容	
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○

令和7年度 地域の障害児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

1	基本情報	法人名	社会福祉法人 慶生会
		センター名	リコ
		センター所在地	鹿児島市谷山中央一丁目7番3号
		中核機能強化体制区分【選択】	Ⅲ. ・主として包括的な支援の推進と地域支援を行う者を配置

2	市町村及び地域の関係機関との連携体制 【選択＋記述】	市障害者自立支援協議会　子ども部会への参加		具体的内容	法人職員が法人代表として参加しており、前後の情報共有を行い事業所との繋ぎを行っている。 センター会議には可能な限り出席させていただき、鹿児島市のセンターの現状把握と共有できるように努めている。
		市児童発達支援センター会議への参加		具体的内容	
				具体的内容	
3	幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援及び家族支援を提供する体制（中核機能①） 【選択＋記述】	指定放課後等デイサービスの指定を有している又は放課後等デイサービスの指定を有している事業所との連携 アセスメントに基づく総合的な支援の提供と個々のニーズに応じたこどもの状態に合わせた特定の領域に重点を置いた支援		具体的内容	・就学後の受け入れ先相談、決定後の情報共有を行っている。
				具体的内容	・生活面、行動面、社会性など総合的な課題に応じた支援目標を設定している。
		特定の知識や技術に関する専門性		具体的内容	・医療ケア児に対する療育、看護知識
4	地域の障害児通所支援事業所との連携状況（中核機能②） 【記述】	実施状況		実施済み	
		実施回数		2回	
		実施日		①令和8年1月24日（土）②令和8年2月7日（土）	
		参加機関		児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所、相談支援センター、幼稚園・保育所	
		実施内容	①	講話（指宿特別支援学校　海江田　宏先生）「みんなが資源、みんなが支援」	
			②	ABA勉強会（ABAマスター　上村　裕章先生）「子どもの行動を理解しよう」	
			③		
上記の地域連絡会のほか、地域の障害児通所支援事業所との連携状況		・事業所からの個別相談を受け付けている。			
5	インクルージョンの推進体制（中核機能③） 【選択＋記述】	地域の保育所等関係機関とのネットワークの構築・連携、支援		具体的内容	・年2回の地域の幼稚園、保育園との幼保連絡会を実施。
		地域の保育所等に対する研修等の実施		具体的内容	・幼稚園、保育園の方への勉強会実施（ABA勉強会）
				具体的内容	
6	入口としての相談機能を果たす体制（中核機能④） 【選択＋記述】	指定障害児相談支援の指定を有している又は指定障害児相談支援事業所の指定を有している事業所との連携		具体的内容	・担当者会議等での話し合いでの連携を図っている。 ・随時、状況把握に向けた連携。
		こども家庭センター等の関係機関とのネットワークの構築・相互の情報連携や支援の連携・協働		具体的内容	・ニーズを抱えた障害児支援等において密な連携を図り、要支援家庭へのサポート
		保護者同士のつながりづくり・仲間づくりに向けた取組等について		具体的内容	・事業所内での家庭の交流会 ・イベントや自事業所での相談会を実施
7	自己評価の項目について、外部の者による評価を概ね年に1回以上公表しているか。【選択】				○
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。【選択】				○